



# コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレター No. 151

2019年8月



## 聖霊から禁じられて (その1)

～2019年4月コルネリオ会例会メッセージから～

横浜指路教会 牧師 藤掛順一

コルネリオ会の例会においてこのようにお話をすることができることを喜んでます。この会の名称は使徒言行録第10章の、ローマの百人隊長コルネリウスの話から来ていることは言うまでもないことです。あの出来事において、神がキリストによる救いの恵みを、異邦人にも、そして軍人にも与えて下さり、彼らをも教会へと招いて下さっていることが明らかになりました。ペトロは最初そのことを、「汚れたものを食べる」ことであるかのように捉えており、そんなことはとんでもない、決してできない、と思っていました。しかし天使のお告げに従って歩むことの中で、神が、どんな人をも清くないとか、汚れているなどと言ってはならないと示しておられることを悟ることができました。聖霊のお働きによって起ったこの出来事によって、異邦人への伝道が大きく前進したのです。それによって、キリストの福音が新たな人々へと伝えられていきました。それは別の角度から言えば、聖霊のお働きによって、キリストの福音を語る新しい言葉が与えられたということです。新しい言葉が与えられたことによって、新しい人々に福音が伝えられていったのです。あのペンテコステの出来事(使徒言行録第2章)においても、使徒たちに聖霊が降ったことによって、彼らは主イエス・キリストによる神の救いのみ業を語る新しい言葉を与えられ、それによって教会が誕生しました。教会の歩みはそういう出来事の連続です。聖霊が特別に働いて下さる時に、教会はキリストの福音を語る言葉を新たに与えられ、新たな人々に福音を告げ知らせていくことができたのです。それは、既にキリストを信じて教会に加えられている者たち

が、聖霊のお働きによって変えられ、新しくされたということでもあります。新しい言葉を語るようになることは、人間全体が新しくされることです。新しい出来事が起り、新しい出会いが与えられる中で、キリストの福音が新しい響きをもって、それまでの自分たちを打ち砕き、新たに生かすものとして聞こえて来る、聖霊が降ることによってそういうことが私たちに起るのです。

そのように、聖霊は私たちに、常に新たにみ言葉を語らせ、伝道を前進させて下さいます。ところが使徒言行録16章6節には「彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられた」とあります。聖霊が、御言葉を語ることを禁じた、ということが起ったのです。この部分は、パウロの伝道活動を語っている所です。パウロは今第二回伝道旅行の途上にあります。15章36節に第二回伝道旅行の始まりが語られています。第一回と同じように、パウロとバルナバはアンティオキア教会から伝道旅行に出発しようとしていました。しかしあることでパウロとバルナバの間に仲違いが起り、バルナバはキプロス島へ向かい、パウロはシラスと共に出発し、シリア州からキリキア州へと、つまり第一回伝道旅行と同じように小アジア(現在のトルコ)へと伝道の旅をしていったのです。そしてデルベ、リストラ、イコニオンで伝道し、リストラではテモテという若者を見出し、彼を伴ってさらに伝道を押し進めようとしていました。5節には「こうして、教会は信仰を強められ、日ごとに人数が増えていった」とありますから、彼らの伝道は豊かな実りを与えられ、順風満帆に見えました。パウロたちはますます伝道へ

の熱意を強められていたでしょう。彼らが次の伝道地として目標を定めていたのは、「アジア州」です。それは小アジアの西部であり、その中心都市はエフェソです。アジア州で伝道するとは、具体的にはエフェソで、ということだと思われまます。中心都市エフェソで伝道し、教会を築くことによって、アジア州全体への伝道の橋頭堡を築くことができると考えたのです。

ところが、彼らはアジア州でみ言葉を語ること、伝道することを、聖霊によって禁じられました。「聖霊から禁じられた」というのが具体的にどのようなことだったのかは分かりません。しかし何があったにせよ、彼らに信仰を与え、伝道へと遣わし、これまでその都度語るべき新しいみ言葉を与えて下さった聖霊が、このたびの彼らの伝道の計画に対しては否をお示しになったのです。彼らはエフェソでの伝道を聖霊によって禁じられたのです。それで彼らは、「フリギア・ガラテヤ地方を通って行った」とあります。これも地図によれば、エフェソに向けて西に進むのをやめて北の方へと進路を変えたということです。そして「ビティニア州に入ろうとした」、小アジア北部の黒海沿岸地方に向かおうとしたのです。ところが「イエスの霊が

それを許さなかった」とあります。「イエスの霊」と「聖霊」は同じです。神の霊が再び彼らの計画に否をつきつけたのです。彼らは二度までも、神によって伝道の計画を妨げられ、計画の変更を余儀なくされたのです。そのために仕方なくまた西へと進路を変え、着いたのがエーゲ海沿岸のトロアスでした。トロアスに着いた夜、パウロは幻を見ました。一人のマケドニア人が「マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください」と願ったのです。マケドニアはエーゲ海の対岸、ギリシアの北部です。この幻によってパウロたちは、マケドニアに渡って伝道することを主が自分たちに求めておられるのだと知り、直ちに海を渡って行きました。このようにして、パウロはヨーロッパに足を踏み入れたのです。このことは、第10章でペトロが幻を見たことによって、ヤッファからカイサリアにコルネリウスを訪ねた話と共通するところがあります。ペトロもパウロも、幻によって自分の思いや計画とは違った道を示され、それに従うことによって、人間の思いを超えて大きい神の救いのみ心を示されていったのです。(次回に続く)

## 2019年度総会報告

コルネリオ会 園林 栄喜

6月8日(土)、2019年度コルネリオ会総会を横浜オンヌリキリスト教会で実施し、2018年度の活動報告・会計報告と2019年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議を行いました。

2019年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は次のようになっています。異議のある方は会長(石川信隆)宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

### 1 2019年度コルネリオ会活動計画

#### 1 方針

- ① 2019年 EA Conference (8月29日-31日、日本)の開催を聖霊の力によって行い、東アジアの軍人クリスチャンとの友好関係と親善に努め、祝福と恵みを受ける。
- ② 毎月1回の例会を通して、聖書の学びおよび聖徒の交わりを行い、お互いに軍人クリスチャンとして励まし合う。
- ③ ニュースレターの発行・ホームページの整備・インターネットの活用を通じて、コルネリオ会の

存在を広く知らしめ、会員の獲得に努める。

- ④ いつも聖霊様の力によって快く新会者を歓迎する。

#### 2 具体的活動

##### (1) 例会

ア 例会は、原則として毎月第2土曜日に開催する。  
イ 学び会は会員の霊的成長につながる集会となるようなプログラムとする。

また聖書の学びに加え、祈り会によって現役会員の使命が達成されるように、コルネリオ会の魅力化を図る。

ウ 新来訪者を歓迎し、共に学び交わる環境を醸成していく。

##### (2) 広報

ア 会員の証しや学び会での恵み等、ニュースレターの記事をさらに会員の霊的成長につなげる内容に改善し、会員の会活動への参画意欲を醸成して行く。

イ 中央からの情報発信だけでなく、地方でのコ

ルネリオ会活動（沖縄支部・関西支部・東北支部）の情報提供にも心がける。

### (3) 宣 教

ア ホームページにコルネリオ会の例会・総会の議事録を載せる。また各国AMCF等のホームページの日本語での紹介等を実施して会員等が活用しやすいホームページ作りに着意する。

イ 韓国軍人クリスチャンおよび防大生との交わりを継続し、信仰を深め励まし合う。

ウ 宣教団体との協力を継続し、会員の霊的成長につながる情報を提供していく。

### (4) 国外活動への参加と支援

ア AMCF（世界軍人キリスト者の会）及び ACCTS（AMCFの教育支援機関）およびMSO（韓国の宣教支援団体）との連絡・調整を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ 2019AMCF EA Conference（8月29日～31日、横浜）の開催を主の恵みと受け止めて喜んで行く。

エ 2016年10月に就任した東アジア会長 Andrew Tzeng(台湾)に協力・支援する。

### (5) 会 計

ア 活動の運営資金が備えられるよう、ニュースレター・ホームページ等を通じて祈り求めるとともに、支援者の獲得に努める。

イ 予算の効率的な使用に心がける。

## 2 役員人事

役 職	2019 度
会 長	石川信隆
副会長	今市宗雄、中野久永
総 務	森川拓弥、関博之、圓林栄喜 尾崎伸作、加瀬典文・真弓
渉 外	中野久永、藪内隆志
広 報	圓林栄喜、芝 祐治、 中岡一秀（地域教会協力）、 宮田皓旦（地域教会協力）、 荻原洋聡（ニュースレター発送） 海野幹郎（国内広報）、 中村誠一（沖縄支部）、 常盤一崇（関西支部）
会 計	長濱貴志
監 査	中岡一秀
教職顧問	金学根、井草晋一、徳梅陽介
名誉会長	矢田部稔

## 3 2018年度決算

（2018. 4. 1～2019. 3. 31）

1 収入	献金一般	¥392,200
	クリスマス献金	¥5,000
	利息	¥0
	2019アジア大会	¥470,000
	前年度繰越金	¥843,076
	合計	¥1,710,276
2 支出	講師・謝礼費	¥50,000
	ニュースレター作成・発送費	¥59,828
	新聞雑誌広告費	¥25,920
	集会費・例会会議費	¥0
	慶弔費	¥0
	接待交際費	¥38,836
	旅費・交通費	¥22,500
	事務通信費(はがき・切手等)	¥2,607
	雑費(振り込み手数料)	¥6,230
	献金(国内教会・海外へ)	¥13,000
	Interaction Koreaへの参加補助	¥2,000
	アジア大会準備	¥600,000
	小計	¥820,921
	2018年度への繰越	¥889,355
	合計	¥1,710,276

## 4 2019年度予算

（2019. 4. 1～2020. 3. 31）

1 収入	献金一般	¥400,000
	クリスマス献金	¥5,000
	利息	¥10
	前年度繰り越し	¥889,355
	合計	¥1,294,365
2 支出	講師等への謝礼・支援費	¥50,000
	ニュースレター作成・発送費	¥45,000
	新聞雑誌広告費	¥20,000
	集会/例会費	¥15,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥20,000
	旅費・交通費	¥20,000
	事務通信費	¥5,500
	雑費(振り込み手数料)	¥9,200
	献金(韓国・モンゴルへ)	¥20,000
	2019アジア大会準備	¥500,000
	次年度への繰越	¥569,665
	合計	¥1,294,365
3	2019アジア大会準備 2018年度、2019年度の同準備金	¥1100,000
4	次年度繰越金	¥569,665

### 献金感謝（2019. 4. 1-2019. 7. 31）

皆様の献金を心から感謝します。（一般・大会献金含む）  
大沼薫、中岡一秀、島田貫司、海野幹郎、尾崎伸作  
石川信隆、今市宗雄、中村純誠、常盤一崇  
圓林栄喜・さゆり、森田豊、山本浩、山下和雄、  
玉井佐源太、黒田正子、中村誠一、荻原洋聡、廣田具之、  
在原繁、石井克直

献金先：（ア）郵便振替 ゆうちょ銀行 コルネリオ会、00130-3-87577

（イ）三菱UFJ銀行 店番 505 和光支店 口座番号 0385701 ジェーエムシーエフ ナガハマタカユキ

## 2019アジア大会迫る

2019年アジア大会が近づいてまいりました。

アジア諸国の軍人クリスチャンの方々との信仰に関する交流がもてることは、信仰上の非常におおきな励ましであり、イエスキリストにあって一つとなることを体験できる貴重な機会です。この大会プログラムを改めて紹介するとともに、講師の先生方も紹介したいと思います。是非大会成功のためにお祈りください。

### 1 テーマ

「平安があなた方にあるように」(ヨハネ 20:19)

### 2 開催期間

2019年8月29日(木)～31日(土)

### 3 開催場所(横浜)

#### (1) 開催教会

##### ア 横浜指路教会

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町 6-85  
Tel 045-681-3804

##### イ 横浜オンヌリ教会

〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 3-63  
ヤオマサビル 4F  
Tel 045-641-6468

#### (2) 宿泊ホテル

##### 桜木町ワシントンホテル

〒231-0062 神奈川県中区桜木町 1 丁目 101-1  
Tel 045-683-3111

### 4 大会プログラム

8月29日(木)	
1400	大会受付
1600-1710	開会礼拝(横浜指路教会) 徳梅陽介牧師説教、世界会長挨拶、 石川会長歓迎挨拶
1730-1830	歓迎夕食会
1900-2030	MEA J 宣教会(横浜指路教会) 藤井秀一牧師証、山北宣久牧師説教
8月30日(金)	
0630-0730	朝食
0830-0920	木島正敏牧師証(横浜オンヌリ教会)
0930-1030	各国報告(I) 韓国・台湾・モンゴル
1040-1140	西岡力教授 聖書講演
1200-1700	観光(AGp:横浜湾内クルーズ、 BGp:ランドマークタワー・ショッピング)
1700-1815	夕食会(中華街)
1930-2100	MEA J 宣教会(横浜指路教会) 尾崎伸作証、
2130	理事会

参加申し込み: 石川信隆(8月15日まで)  
E-mail: cgishikawa@m4.dion.ne.jp

### 8月31日(土)

0630-0730	朝食
0830-0920	井草晋一牧師証(横浜オンヌリ教会)
0930-1030	各国報告(II) キリギススタン・カザフスタン タジキスタン・日本
1040-1140	派遣礼拝 朝岡勝牧師説教
1140-1200	閉会式 東アジア会長挨拶
1230-1330	送別昼食会、今市副会長送別挨拶
1400	解散

### 5 講師・証者紹介



**徳梅陽介** 1958年北海道生まれ。琉球大学法文学部卒、東京キリスト神学校卒業。防大聖書研究会で15年奉仕。現在、日本同盟基督教団 馬堀聖書教会牧師(横須賀)。



**藤井秀一** 1966年 東京都生まれ 元陸上自衛官 東京バプテスト神学校卒、常盤台キリスト教会、坂田のぞみキリスト教会牧師。現在、花小金井キリスト教会牧師



**山北宣久** 1941年東京都生まれ。立教大学、東京神学大学院卒業、前キリスト教連合会理事長、前日本基督教団総会議長、前青山学院院長、前日本宗教連盟委員長、理事長歴任、現在、日本キリスト教団出版局理事長



**木島正敏** 1950年宮崎県生まれ 元航空自衛官 防衛大学校、バイブルカレッジ・オブ・ウェールズ卒業。元モンゴル宣教師。現在、日本福音キリスト教会連合・本郷台キリスト教会アドバイザー牧師



**西岡力** 1956年東京生まれ。国際基督教大学、筑波大学院卒業、前東京基督教大学教授。北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長。現在 公益財団法人モラロジー研究所歴史研究室室長・教授、麗澤大学客員教授



**尾崎伸作** 1969年大阪府生まれ。元海上自衛官 防衛大学校卒業。元北米オハイオ州ビジネスダイニングサービス マネジャー、現在、IT サービス企業会社員。ベテル・バプテスト教会教会員(さいたま市)



**藤掛順一** 1956年神奈川県生まれ。東京大学、東京神学大学院卒業。元富山鹿島町教会牧師。現在、横浜指路教会牧師



**井草晋一** 1951年群馬県生まれ。福音聖書神学校卒業。元 能勢川キリスト教会 牧師(日本メノナイトブレザレン教団)、現在、武庫川キリスト教会 協力牧師、コルネリオ会教職顧問(関西地区)



**朝岡勝** 1968年茨城県生まれ。東京基督教短期大学、神戸改革派神学校卒業。元日本同盟基督教団副理事長。現在、徳丸町キリスト教会牧師